|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **１/３** | 令和５年度土木学会技術開発賞応募調書 |  | **№** |
| 令和　　　　年　　　　月　　　　日　　提出 |  | 受付令和　年　月　日 |
| 選考対象となる技術開発件名 |  |
| 選考対象者名 | 会員番号 | 氏　　　　　名 | 勤務先・役職 | 所　　在　　地 | 電話番号 | 年令 |
|  |  |  | 〒 |  |  |
|  |  |  | 〒 |  |  |
|  |  |  | 〒 |  |  |
|  |  |  | 〒 |  |  |
|  |  |  | 〒 |  |  |
| 実　　　績　　　の　　　概　　　要 | １ | 事業主体 |  |  |  |
| 事業件名 |  |
| 実施場所 |  |
| 実施時期 | 年　　　　月　　　　～　　　　年　　　　月 |
| ２ | 事業主体 |  |  |  |
| 事業件名 |  |
| 実施場所 |  |
| 実施時期 | 年　　　　月　　　　～　　　　年　　　　月 |
| ３ | 事業主体 |  |  |  |
| 事業件名 |  |
| 実施場所 |  |
| 実施時期 | 年　　　　月　　　　～　　　　年　　　　月 |
| 添付資料名 |  |
| 連絡者氏名ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ等 | 氏名： | 電話： | Ｅﾒｰﾙ： | FAX： |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **２/３** | 令和５年度土木学会技術開発賞応募調書　 |  | **№** |
| 令和　　　　年　　　　月　　　　日　　提出 |  | 受付令和　年　月　日 |
| 業　績　要　旨［開発背景］　［独創性（新規性）］［経済性］［汎用性］ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **３/３** | 令和５年度土木学会技術開発賞応募調書 |  | **№** |
| 令和　　　　年　　　　月　　　　日　　提出 |  | 受付令和　年　月　日 |
| 業　績　要　旨（続き）［安全性］ |
| 推　薦　理　由 |
| 各選考対象者の果たした役割（選考対象者が複数の場合） |
| 特許あるいは実用新案の申請状況等について |
| 当該技術に関して特許あるいは実用新案を申請している場合，また，使用した他の特許等がある場合は，その総数及び代表的なもの5件（総数が5件以内の場合は全数）について，下表の各項目を次に従って記入して下さい．なお，代表的なもの5件については，公報（出願内容の公示または権利として発生した内容の公示）の下表各項目が記載されている頁を添付して下さい（公開前の場合は添付不要）．① 区 分：申請しているものの場合は，「申」，使用した他のものの場合は「使」と記入．② 種 別：特許は「特」，実用新案は「実」と記入．③ 申請状況：次のアルファベットを記入．出願中(公開前)：ａ，　出願中(公開後)：ｂ，　審査請求中：ｃ，　出願公告中：ｄ，　特許登録済：ｅ　④発明者（申請の場合）：発明者のうち，選考対象者に下線を引く．　 |
| 申請しているもの | 特許：　　　　件 | 実用新案：　　件 | 使用した他のもの | 特許：　　　　件 | 実用新案：　　件 |
| 区分 | 種別 | 出願日 | 出願番号　　　特許番号 | 申請状況 | 発　明　名　称 | 発明者（申請の場合）　　　　出願者（使用の場合） |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

注　　意　　書　　き

1. 技術開発賞候補の応募調書の記載に当たっては，募集要項および表彰規程を確認してください．提出後の応募調書の訂正は認めません．
2. 応募調書は，1/3，2/3，3/3の3頁です．
3. 応募調書は黒色文字で明瞭に記載してください．
4. 推薦者は，すべて個人名とし，法人会員，特別会員，海外分会，土木事業に関連する学・協会としおよび海外協力協定学協会についてはそれぞれを代表する者あるいは土木学会長の認める者とします．
5. 選考対象者名は，５名程度までとし必要であれば行を適宜追加してください．
6. 技術開発件名は，以下の点に注意してください．
	1. 具体的な技術内容を表現したタイトルとしてください．
	2. 商品名や工法名を記載する場合は括弧内に明記してください．

サンプル：〇〇〇〇流動化コンクリート（△△△コンクリート）の開発

* 1. 技術開発件名に略称名（商品名・工法名を除く）を用いる場合は括弧内に正式名称を明記してください．

サンプル：□□□施工技術（〇〇〇〇に関する施工技術）の開発

1. 実績は，実際に供用される構造物に適用されている等，社会に貢献していると認められるものとし，これ以外の試験施工等の技術検証や，選考対象の技術を使用した施工が完了していないものは実績として認めません．以下に実績となるものの例を示します．

計画・設計・施工等の建設技術の実績例：実際に供用される完成した構造物の建設や補修補強等に当該技術が適用され，機能向上・改善，コスト縮減や環境改善等の効果が発揮された事例

検査・点検等の維持管理技術の実績例：実際に供用されている完成した構造物の点検業務における検査手法として当該技術が位置づけられ，その点検結果を活用して維持管理業務の省力化や信頼性向上等の改善効果が発揮されている事例

情報技術・マネジメント技術の実績例：実際の土木関係業務において当該技術が導入され，業務の効率化・高精度化等の改善効果が発揮されている事例

1. 業績要旨および推薦理由は，簡潔・明瞭に記載してください．
2. 業績要旨の[独創性（新規性）]には，類似技術との違いを記述してください．
3. 業績要旨および推薦理由の記載には，図表，写真を使用しないでください．
4. 選考対象者の果たした役割には，選考対象者が当該技術の開発に果たした役割を明瞭に記述してください．技術開発賞は選考対象者個人に贈られる賞となりますのでご留意願います．以下に記述例を示します．

記述例：○○　○○　現場実証の作業調整及びシステム導入を主体的に行った．現場実証によりシステムの操作性や運搬動作に関する課題抽出を行い，本システムに反映した．

疑義が生じる記述例：△△　△△　開発の総括責任者

1. 応募にあたっては，応募技術が他者の知的財産権を侵害しないことを事前に確認してください．
2. 添付資料は，当該業績を説明するのに必要な資料（論文集・技術雑誌等に公表されたもの）とします．なお，コピーを添付する際には，著作権の侵害に当たらないことを事前に確認してください．また，添付資料名の欄には技術概要書は記載しないでください．
3. 特許あるいは実用新案の公報の添付は，登録済の場合は「特許公報・実用新案公報」を，未登録の場合は「公開特許公報・公開実用新案公報」を添付してください．添付する頁は一般的にはフロントページとなりますが，発明者等が「最終頁に続く」とされている場合には最終頁も添付してください．その他の頁は添付しないでください．
4. 技術内容説明会を令和6年2月20日（火）（予備日2月21日（水））に開催いたします．発表日および発表時間の希望はお受けできません．
5. 技術内容説明会の連絡および技術的な内容についてお問い合わせいたしますので，選考対象者のうちの１名を連絡者とし，e-mailアドレス等を必ず記載してください．
6. 提出期限　令和6年１月19日（金）17:00（必着）
7. 提出先　〒160-0004 東京都新宿区四谷１丁目（外濠公園内）

土木学会技術開発賞選考委員会　事務局

以　上

令和５年度 土木学会技術開発賞

|  |
| --- |
| 「技術概要書」○下記の書式に従って、提出願います。①体 裁：Ａ３判(横長)②頁 数：４頁 以内③記述内容：候補技術の特徴や実用化の状況等を把握できる内容とし、　　　　　　　 概ね、下記の項目を適宜記述するものとする。　　　　　　　 ～開発の背景、候補技術の具体的な内容、候補技術の既存技術･類似技術等との違い、開発の経緯、開発の効果、施工実績　等～④ 問合せ先：公益社団法人土木学会「技術開発賞選考委員会」担当事務局総務課 　　TEL（03）3355-3442 |